

やまぐちっ子の学力向上に向けて

令和2年1月
やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

新学習指導要領では、これからの時代に求められる資質・能力を育成するため、「社会に開かれた教育課程」の実現や、「カリキュラム・マネジメント」の充実、また「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

こうした中、平成31年度の全国学力・学習状況調査における本県の結果は、小学校・中学校ともに全体として全国平均を上回っているものの、特定の内容に関する知識や技能の定着、身に付いた知識・技能を活用する力、勉強が「好き」である児童生徒の育成、家庭学習の充実などに課題が見られます。

これらの課題を改善するためには、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とした、「学校の『組織力』の充実」、「教員の『授業力』の向上」、「学校・家庭・地域の『連携力』の強化」の3つの視点による取組を継続して充実させていくことが重要であると考えます。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの山口県学力定着状況確認問題や全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、次の提言をまとめました。

— 提 言 —

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 子どもたちに育成すべき資質・能力を身に付けさせるため、教科等横断的な視点からの教育課程編成など、「カリキュラム・マネジメント」の全校体制での取組の充実を促進すること
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した年間2回の検証改善サイクルによる全校体制での取組の徹底や、学力分析支援ツールを活用した結果の提供等、各学校における課題の焦点化や課題解決に向けた組織的な授業改善の取組の充実を促進すること
- 基礎的・基本的な内容の確実な定着や、多面的な児童生徒理解に基づく、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制づくりを推進すること

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 勉強が「好き」である児童生徒の育成に向けて、新学習指導要領の趣旨の徹底を図り、資質・能力の3つの柱「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成をめざした、授業改善を推進すること
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために、校内研修の活性化を促進するとともに、やまぐち総合教育支援センターとの連携により、効果的な指導方法等の研修を実施すること
- 教科の専門性やキャリアステージに応じた研修会等の実施・充実により、個々の教員の授業力の一層の向上を図ること

3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、学校の教育目標や子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を共有するとともに、地域の教育資源の活用を推進すること
- 家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々との情報共有による学習習慣や生活習慣の確立を図る取組を促進すること
- 接続する学校や幼児教育施設等との連携により、発達の段階に応じた指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもが学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことができる取組を促進すること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。